



鎌倉市本庁舎等整備

市民対話 ワークショップ

第1回 令和3年3月20日(土) 10:00~12:00

まもなく開始します

鎌倉市行政経営部庁舎整備課

本日の流れ

鎌倉市本庁舎等整備 市民対話ワークショップ

第1部：オリエンテーション 10:00～10:25

進行あいさつ・本日の流れ

- はじめに/5分 (鎌倉市行政経営部庁舎整備課)
- 市長メッセージ/5分
- 新たな本庁舎の整備・鎌倉市役所所在地の利活用におけるポイント/10分 (日本総研、arg)
- 「市民の思い」をつなぎ「共につくる」〈共創〉ワークショップへ/5分 (arg)

第2部：グループワーク 10:30～11:30

- 自己紹介・チャットの練習/10分
- 対話1：2030年、あなたにとって新たな本庁舎の役割はどういうものでしょうか/25分
- 対話2：2030年、あなたにとって鎌倉市役所所在地はどんな場所であってほしいですか/25分

第3部：共有 11:35～12:00

- 全体発表：3分×6グループ/18分
- 本日のまとめと次回に向けて/3分 (arg)
- おわりに/3分 (鎌倉市行政経営部庁舎整備課)
- 記念撮影 ※NGの方は除く

はじめに

新たな本庁舎の整備・
鎌倉市役所現在地の利活用
におけるポイントについて

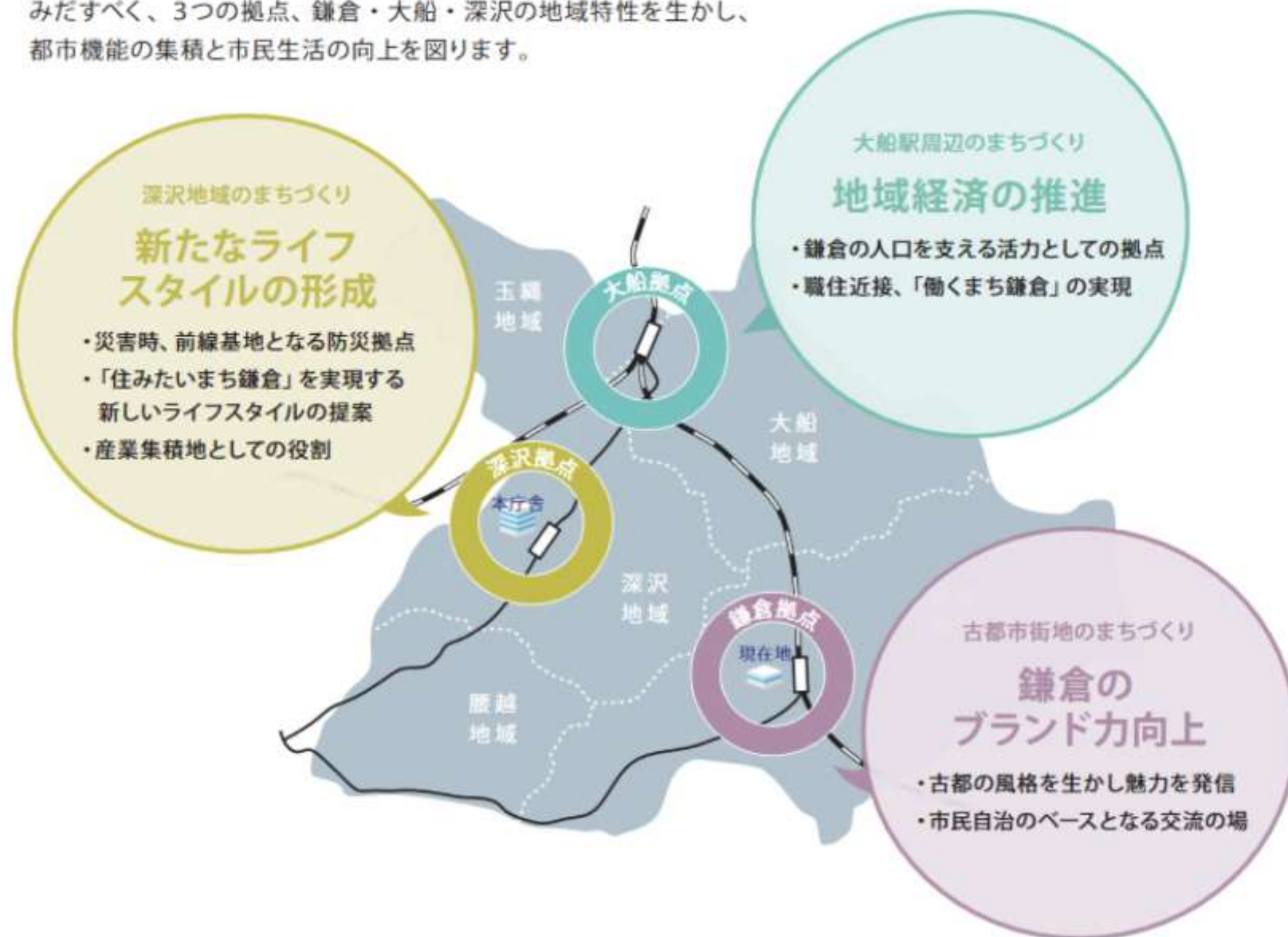
新たな本庁舎の整備

深沢地域整備事業用地(行政施設用地)の
利活用後のイメージ
(具体的な整備計画を現したものではありません。)

新たな本庁舎の整備におけるポイント

本庁舎づくりと鎌倉のまちづくり

鎌倉市全体の生活・文化・経済の向上につながる波及効果を生み出すべく、3つの拠点、鎌倉・大船・深沢の地域特性を生かし、都市機能の集積と市民生活の向上を図ります。



新たな本庁舎の整備におけるポイント



- **基本理念 (ビジョン)**

市民のニーズや社会情勢の変化に応えるコンパクトな本庁舎

- **基本方針 (6つの要素)**

次ページ参照

- **導入を予定 (検討) している機能 (本庁舎機能以外)**

- ・ 地域図書館
- ・ 地域学習センター (集会室・ホール等)
- ・ 消防本部 (指令センター、消防署等)

- **周辺施設 (予定も含む)**

- ・ 湘南モノレール 湘南深沢駅
- ・ 公園・グラウンド・総合体育館 (予定)
- ・ 住宅・商業施設 (予定)

ビジョンと6つの要素

ビジョン

市民のニーズや社会情勢の変化に応えるコンパクトな本庁舎

- ・機能的で、社会情勢の変化に柔軟に対応できる
- ・質の高い行政サービスを提供する場

1 堅固な建物で 災害時に頼れる

- ・災害時に市民の生命を守る前線基地
- ・発災後に業務継続ができる堅固な建物

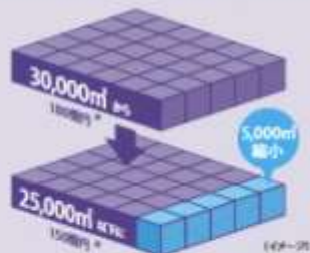
災害時には前線基地となる堅固な本庁舎と各地域の行政センターが連携する防災ネットワークを形成し、市全体の防災対応力を高めます。



2 最小限の機能を備え コンパクトで効率的

- ・利用者の利便性を重視
- ・効率的なスペース利用

未来を見据えた柔軟な空間設計を目指します。



※ 建設単価60万円/㎡で試算。今後変動する可能性があります。

3 鎌倉の自然や歴史を感じ、 市民のつながりを生かせる

- ・市固有の自然や歴史を感じられる空間
- ・市民同士がつながる市民活動ネットワークの形成



情報発創のスペースを確保し、市民のつながりを生かせる本庁舎を目指します。

4 人や民間資金を呼び込む

- ・ふらっと立ち寄りたくなる場所
- ・民間活力の導入などにより
財政負担を抑制



将来にわたって有効に活用できる本庁舎を目指します。

5 市民に寄り添った対応ができる

- ・学びや交流、子育て、起業支援など
多様なニーズに応える
- ・豊かな市民生活の実現につながる場



市民の多種多様なニーズに応えられる場や機能を持った本庁舎を目指します。

6 誰もが利用しやすい

- ・ユニバーサルデザインやバリアフリーの実現
- ・来庁者の多様性に配慮した窓口機能

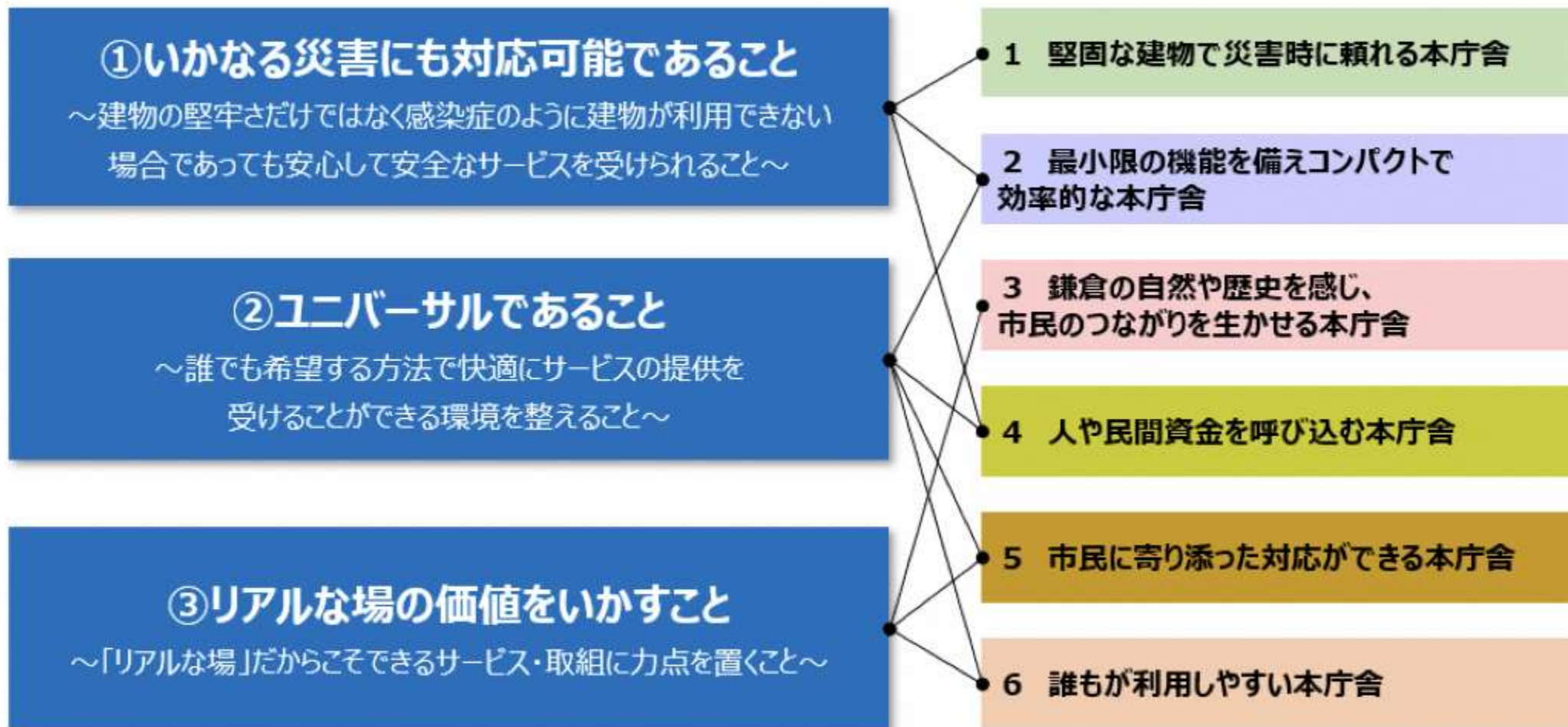


来庁者の多様性に配慮した窓口を目指します。

基本構想策定後の社会情勢の変化



新たな本庁舎における「これからの行政サービスと働き方」を考える上で重視するポイント（案）



- 窓口サービスのあり方

原則としてすべての手続きサービス、相談サービスをオンラインで提供可能
とするとともに、新庁舎には対面型窓口を設置する

- 職員の働き方

原則として、テレワーク可能な職場で希望するすべての職員がテレワーク可能
となる環境を整える

鎌倉市役所現在地の利活用

現庁舎跡地

鎌倉市役所(現在地)の利活用後のイメージ
(具体的な整備計画を現したものではありません。)

利活用の基本方針

●市民サービスの提供・公共施設再編と民間機能の導入による賑わいや憩いの創出

鎌倉駅直近において様々な魅力を発信することで鎌倉のブランド力向上・新たなライフスタイルの提案・「住みたいまち鎌倉」の実現を目指す。

○市民サービスの提供※・公共施設再編

- ・市民サービス機能の維持と鎌倉地域における公共施設の再編による付加価値の創出
 - ・市民の相談・手続きのための窓口をコンパクトに整備
→親しみやすく身近な市民サービス(窓口)
 - ・ホール(生涯学習センター)、図書館、ミーティングスペースなど、市民の生涯学習、活動の拠点
- ※ 市民サービスや相談のための窓口を残す(主に現在の本庁舎の1階にある機能)とともに公共施設の再編と相まって、生涯学習、芸術文化、市民活動、多世代交流などの拠点化を目指します。

○民間機能の導入

- ・シェアオフィス、子育て施設などの導入による働く環境づくり
- 既存の歴史的遺産・自然環境に恵まれたこのまちで、働き、暮らすという新たなライフスタイルの定着

○賑わいや憩いの創出

鎌倉駅直近において様々な魅力を発信することで鎌倉のブランド力向上・新たなライフスタイルの提案・「住みたいまち鎌倉」の実現を目指す。

- ・オープンスペースの活用により、市民や来訪者の憩いの場、子どもから高齢者までの世代間交流等の場を整備
→多世代間交流・地域活性化・魅力発信

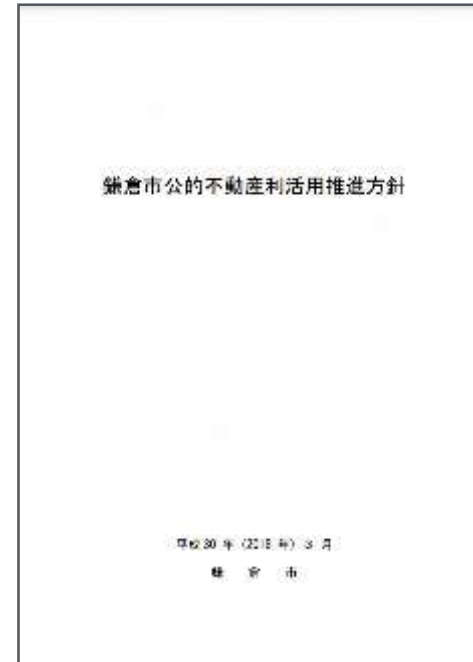
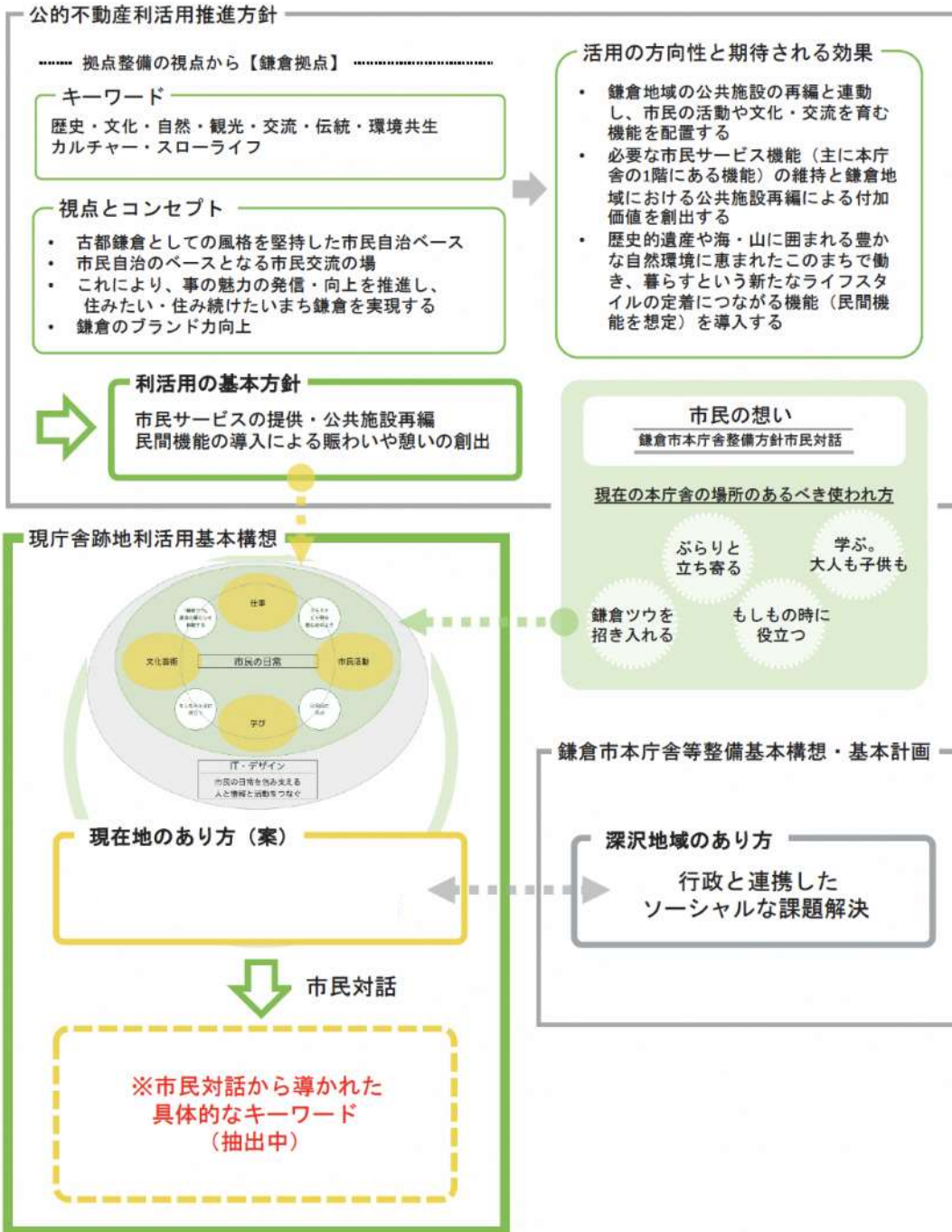
図 利活用の効果のイメージ

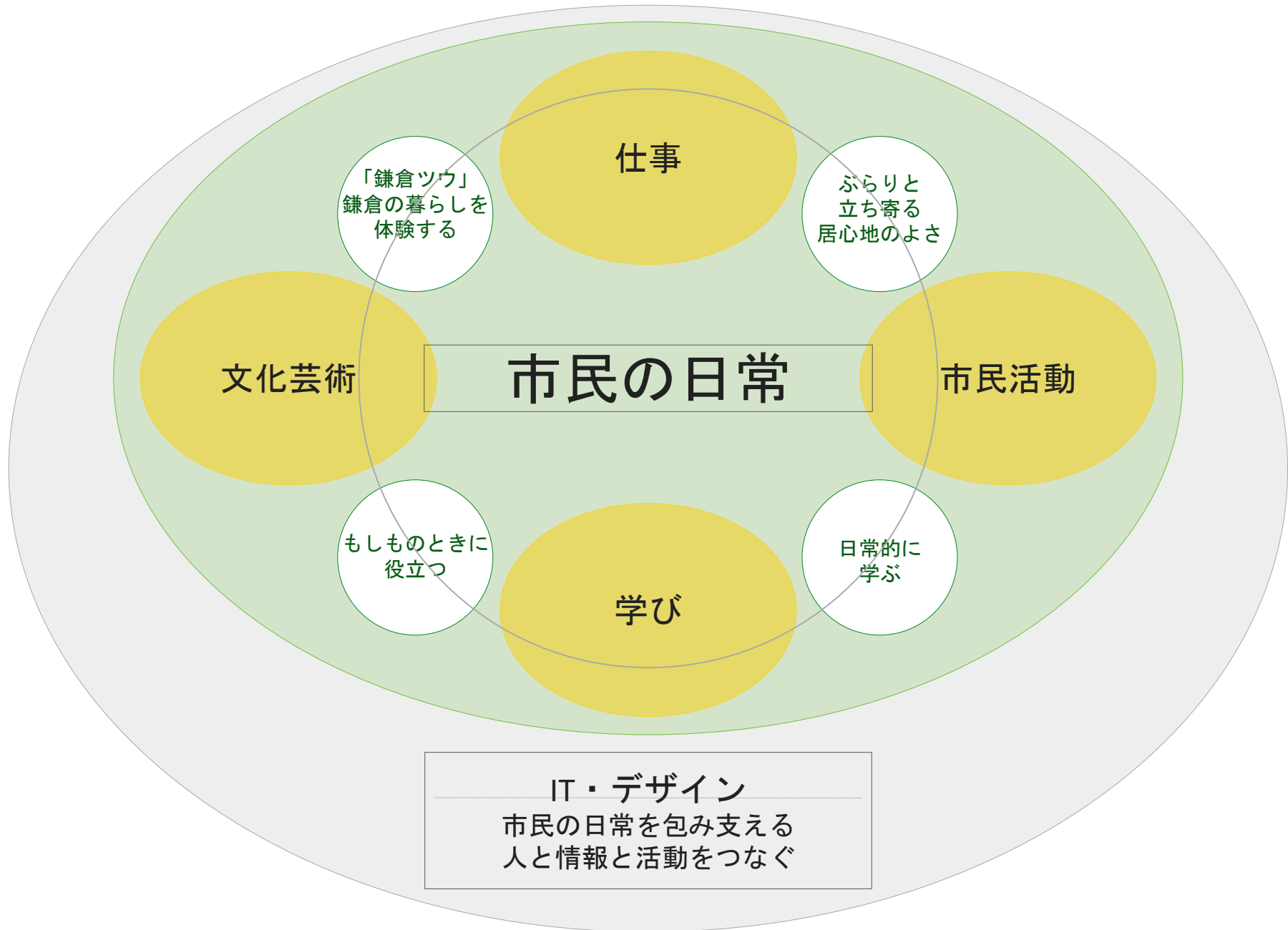
※あくまでイメージ図であり、実際の整備計画を表したものではありません。

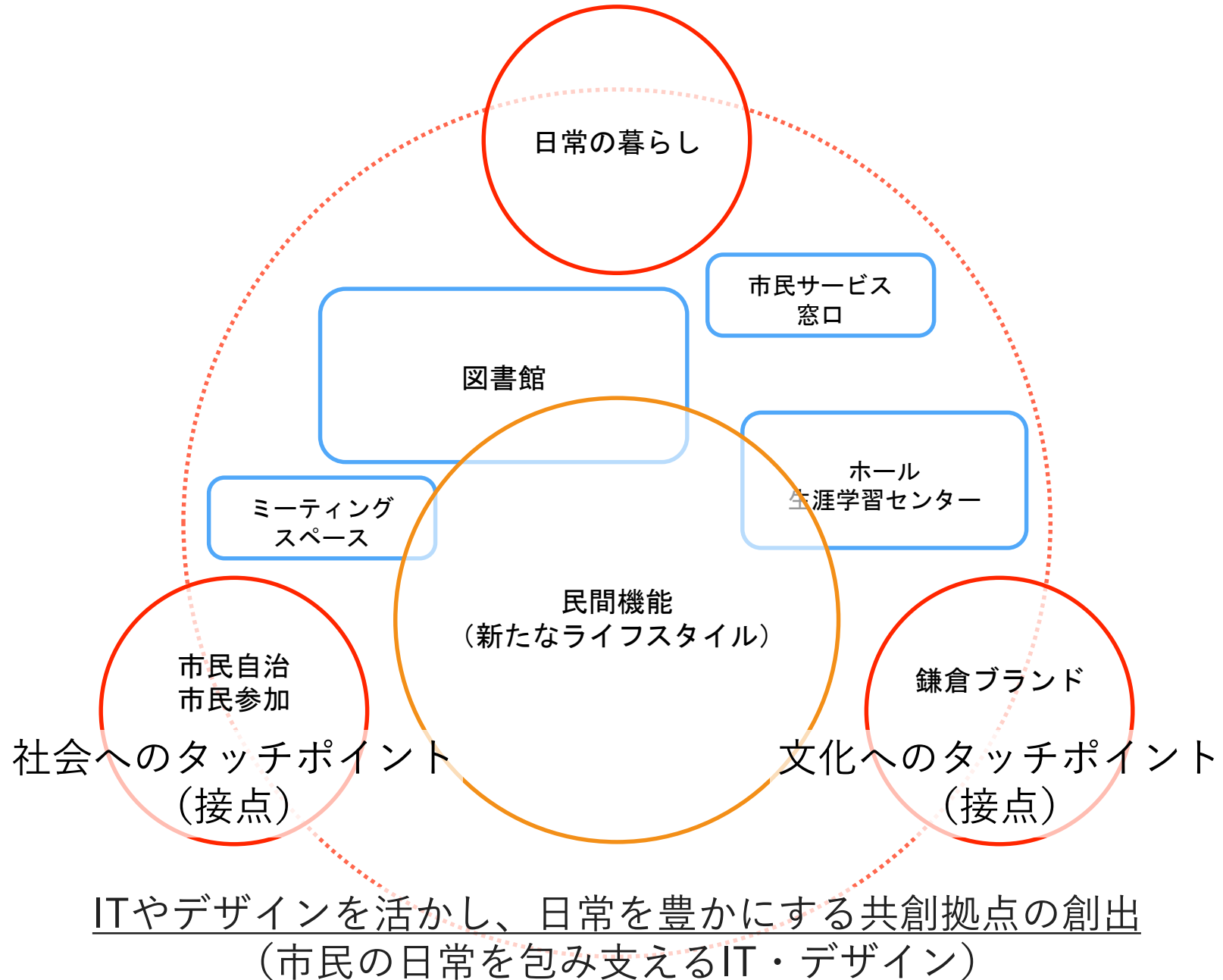
■ 鎌倉地域・鎌倉拠点・現在地に関するポイントの整理

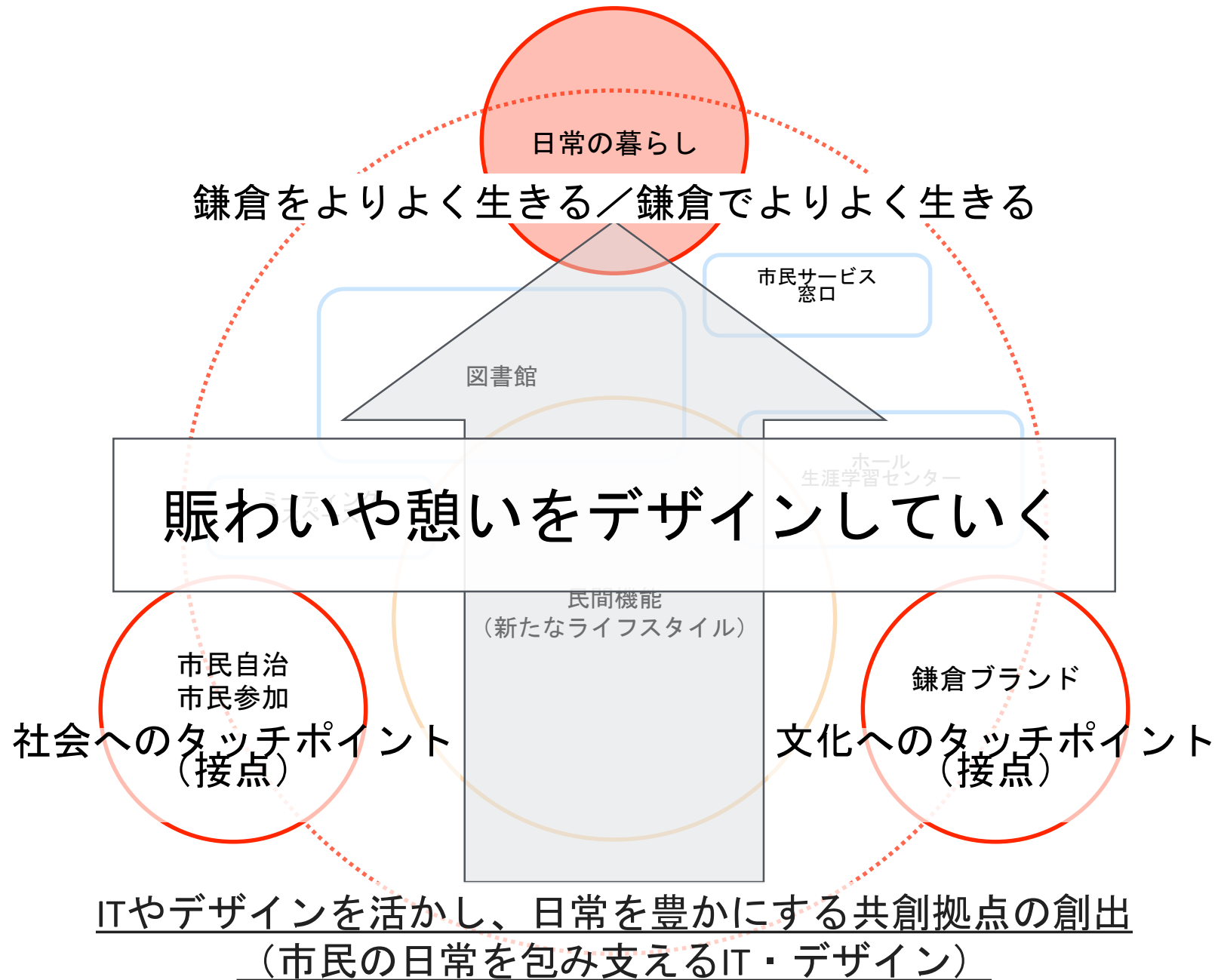
<p>鎌倉地域 キーワード</p>	<p>歴史 文化 自然 観光 交流</p> <p>伝統 環境共生 カルチャー スローライフ</p>
<p>鎌倉拠点 視点とコンセプト</p>	<p>市民自治のベース 鎌倉のブランド向上 「住みたいまち鎌倉」の実現</p>
<p>現在地（現庁舎跡地） 方向性</p>	<p>市民サービスの提供 公共施設再編 民間機能の導入 賑わいや憩いの創出</p>
<p>市民の思い 「現在の本庁舎の場所の あるべき使われ方とは？」</p>	<p>ぶらりと 立ち寄る 居心地のよさ 日常的に 学ぶ 「鎌倉ツウ」 鎌倉の暮らしを 体験する もしものときに 役立つ</p>

■本事業の方向性としての基本理念、基本方針関係図（案）









〈共創〉 ワークショップ
プログラムについて

「周知・意見聴取」といった1方向のコミュニケーションから **〈共創〉** ネットワーク型の市民参画へ



〈共創〉 に取り組んできた鎌倉市だからこそできる
地域を「共につくる」ワークショップの実践

※共創とは：ともに考え、ともに創ること

1. 協働・参加型のデザイン

鎌倉市民や鎌倉市に関係する**人びとの協働・参画によって**、鎌倉市の日常を支える公共施設、公共空間のあり方を行政と市民と事業者が**一体**となって検討できる場を、**育てていきます**

2. わたしたちごと化

鎌倉市民や鎌倉市に関係する人びとが主体的に関わり、自分たちのまち、自分たちの地域の公共施設や公共空間をどのようにつくり、運営し、利用していくのかについて、**まずは「自分ごと（わたしごと）」として考え、そこからさらに「わたしたちごと」として捉えていきます**

3. 地域の可能性と課題を再発見する

市民協働によって、ウィズコロナ/ポストコロナ
といった新しい時代における、**鎌倉市の日常／
鎌倉市らしさを見つめ直し、鎌倉市の可能性と
課題を再発見します**

- ▶ 1回の発言は1分までにしよう

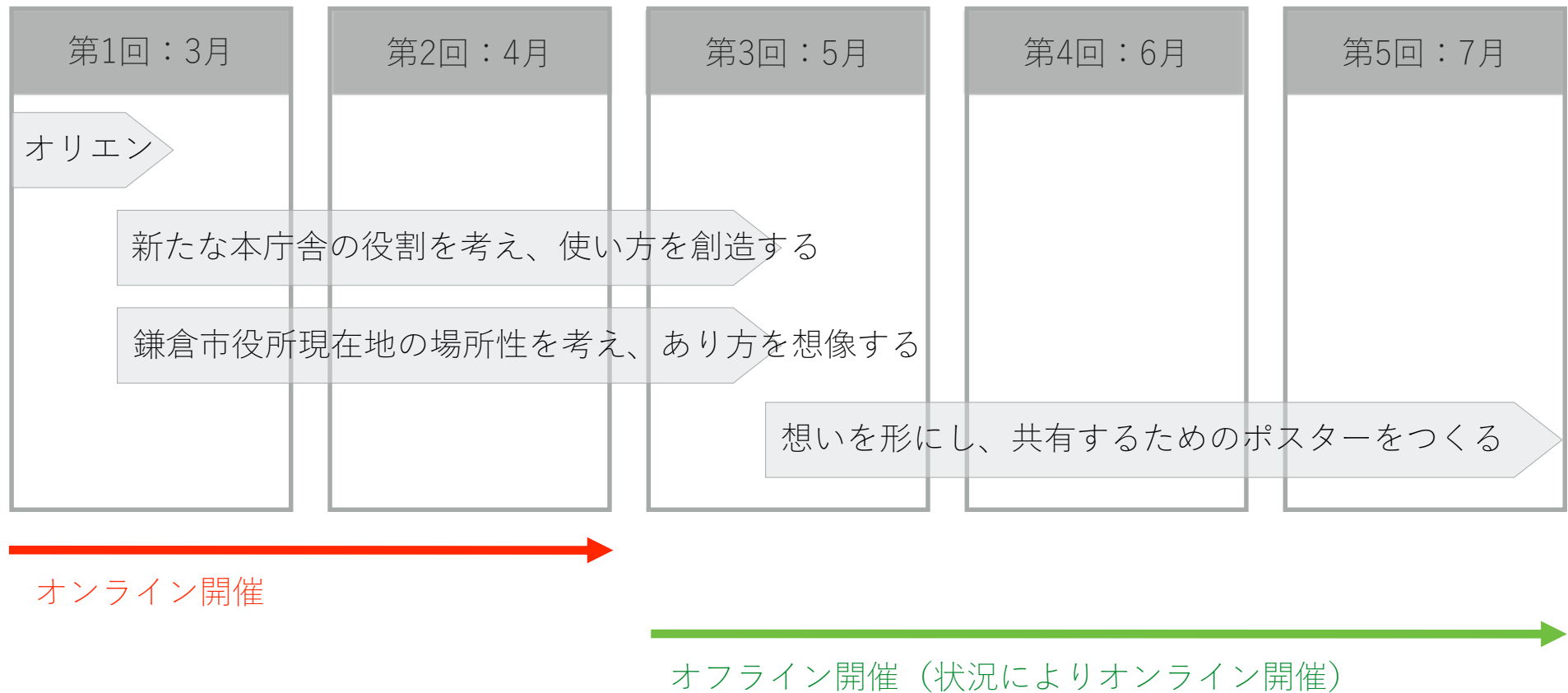
- ▶ お互いの話を聴こう

- ▶ お互いの発言に対する否定・遮りはしない

- ▶ 発言はチャットに書き込もう

- ▶ 答えを出さなくても大丈夫、問いを発見しよう

■市民対話 ワークショップ：全5回の流れ



市民が持続的にプロセスに参加することができる機会を創出し、こうした市民の参加を、実践としての「共創」へとつないでいく

本日のグループワークについて

鎌倉市本庁舎等整備 市民対話ワークショップ

第1部：オリエンテーション 10:00～10:25

進行あいさつ・本日の流れ

- はじめに/5分 (鎌倉市行政経営部庁舎整備課)
- 市長メッセージ/5分
- 新たな本庁舎の整備・鎌倉市役所所在地の利活用におけるポイント/10分 (日本総研、arg)
- 「市民の思い」をつなぎ「共につくる」〈共創〉ワークショップへ/5分 (arg)

第2部：グループワーク 10:30～11:30

- 自己紹介・チャットの練習/10分
- 対話1：2030年、あなたにとって新たな本庁舎の役割はどういうものでしょうか/25分
- 対話2：2030年、あなたにとって鎌倉市役所所在地はどんな場所であってほしいですか/25分

第3部：共有 11:35～12:00

- 全体発表：3分×6グループ/18分
- 本日のまとめと次回に向けて/3分 (arg)
- おわりに/3分 (鎌倉市行政経営部庁舎整備課)
- 記念撮影 ※NGの方は除く

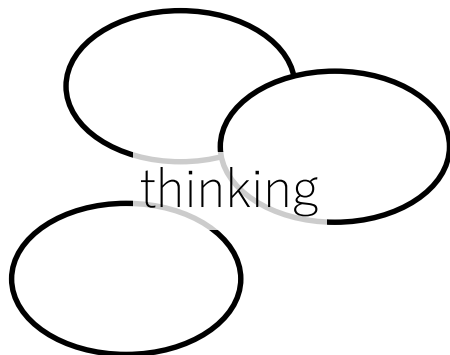
第2部：グループワーク 10:30～11:30

- 自己紹介・チャットの練習/10分
- 対話1：2030年、あなたにとって新たな本庁舎の役割はどのようなものでしょうか/25分
- 対話2：2030年、あなたにとって鎌倉市役所所在地はどんな場所であってほしいですか/25分

1

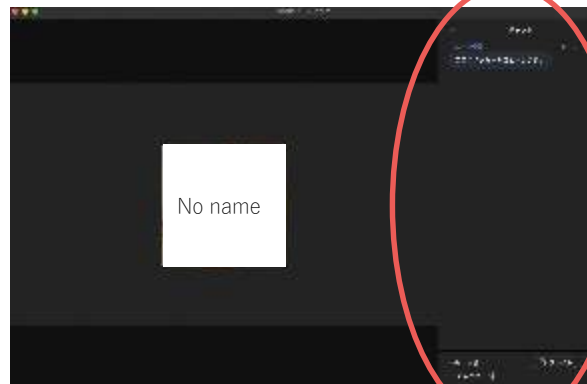
テーマについて

キーワードとつなげて考える



2

考えたことをZoomの
チャットに書き込む



3

書き込んだことを基に
グループ内で対話する



〈対話1 テーマ〉

2030年、あなたにとって新たな本庁舎の役割は
どのようなものでしょうか（どんな役割であってほしいでしょうか）

〈対話1 キーワード〉

A

**市民に寄り添う
庁舎**

B

**深沢地域
とのつながり**

C

**庁舎における
交流**

〈対話2 テーマ〉

2030年、あなたにとって鎌倉市役所所在地は
どんな場所であってほしいですか

〈対話2 キーワード〉

A

鎌倉の暮らし

B

**鎌倉の
仕事と学び**

C

**鎌倉の歴史文化
とブランド**



鎌倉市本庁舎等整備

市民対話 ワークショップ

第2回 令和3年4月17日(土) 10:00~12:00

次回もオンラインでの開催となります！

鎌倉市行政経営部庁舎整備課